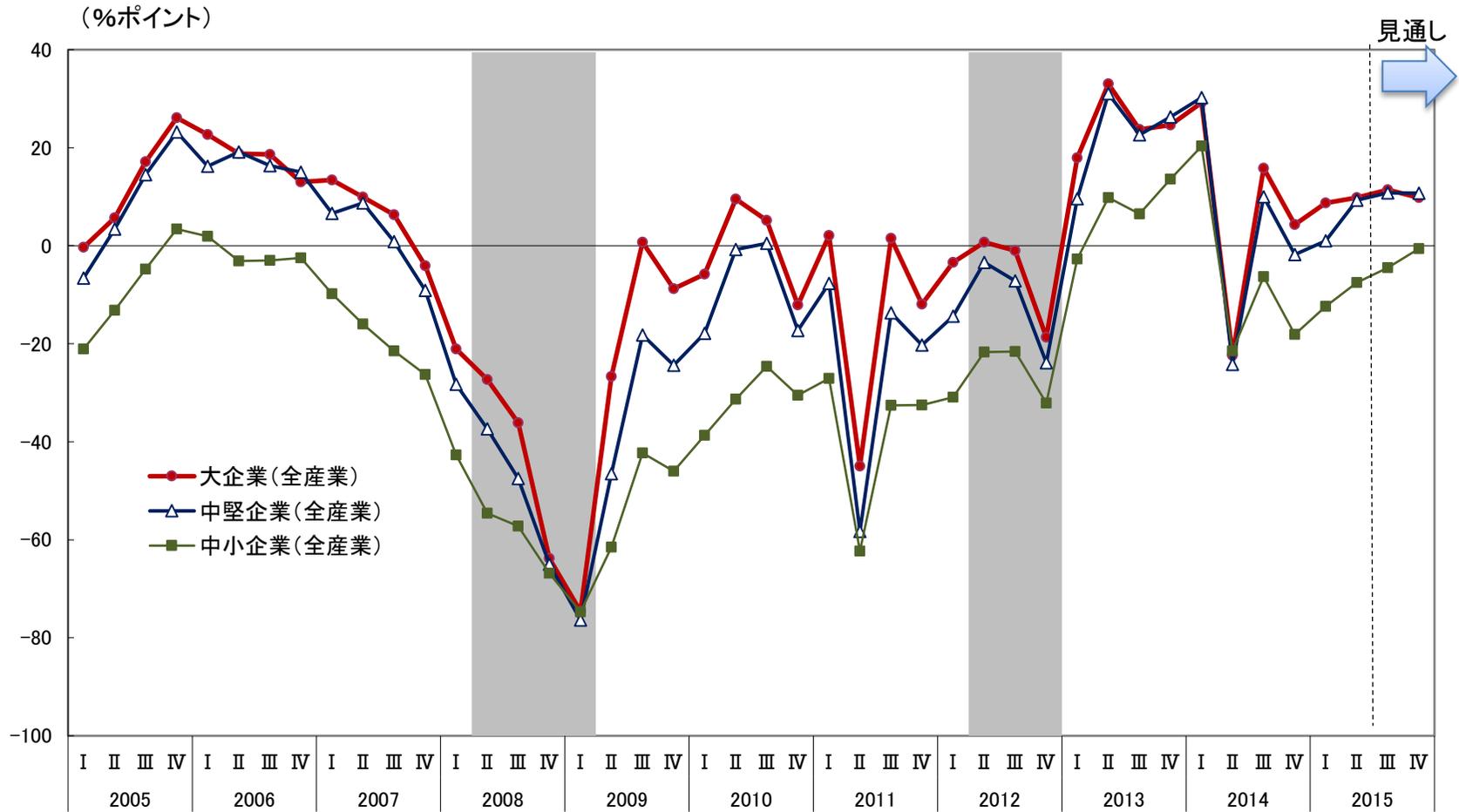


図表4-9 法人企業景気予測調査(国内の景況判断BSI)の動向



(注1) BSIは、「上昇」-「下降」社数構成比。

(注2) 2015年第3四半期(7-9月期)、第4四半期(10-12月期)は平成27年4-6月期調査時の見通し値。

(注3) シャド一部分は、景気後退期を示す。2012年第1四半期:景気の山 2012年第4四半期:景気の谷

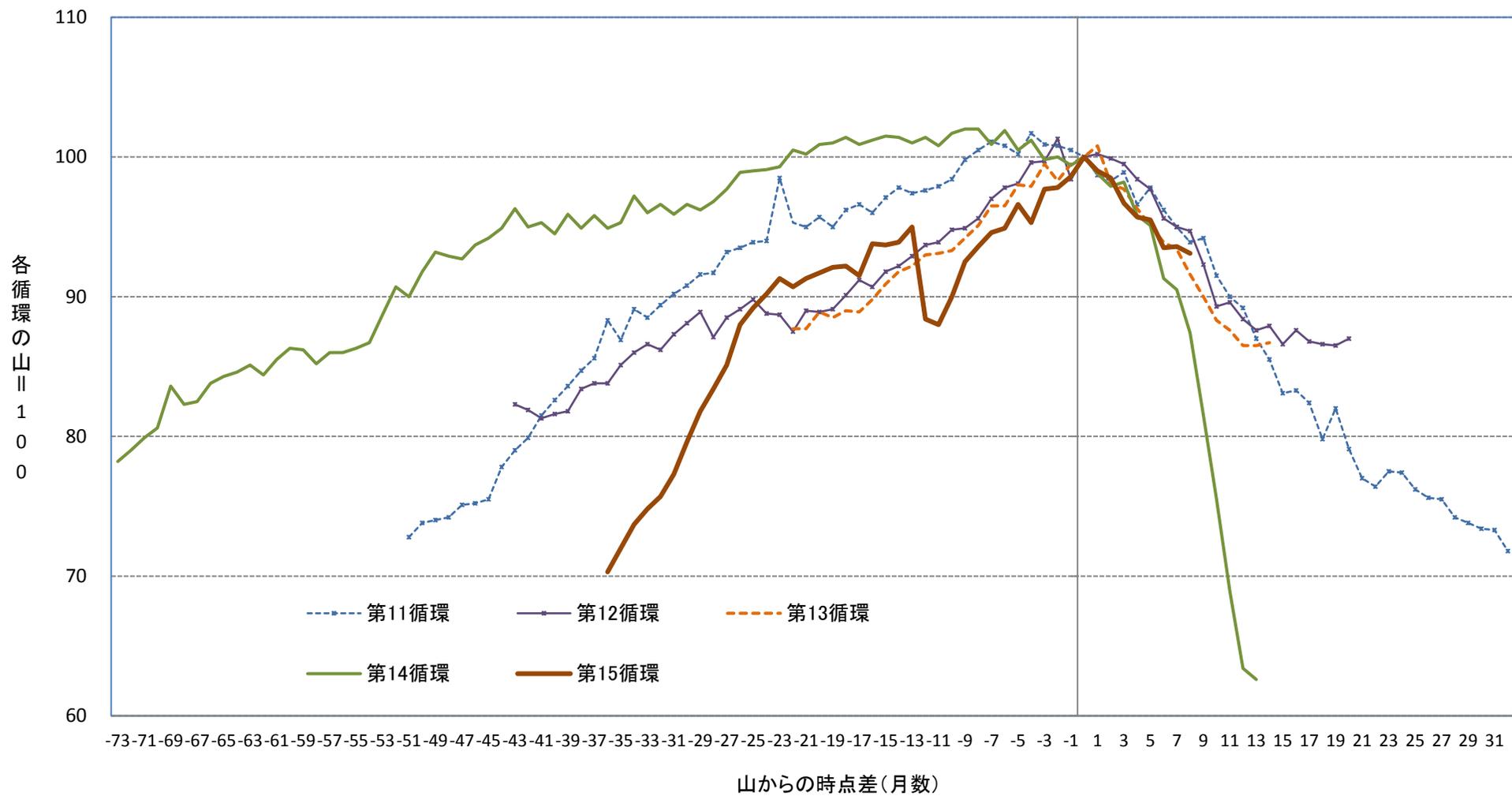
図表4-10 CI一致指数 各局面における個別系列の寄与率

(単位:%)

	第11循環	第11循環	第12循環	第12循環	第13循環	第13循環	第14循環	第14循環	第15循環	第15循環	平均 (第11~15循環)	拡張局面	後退局面
	拡張局面	後退局面											
生産指数 (鉱工業)	11.2	6.1	9.1	9.5	8.0	12.9	13.0	11.3	12.0	14.2	10.7	10.7	10.8
鉱工業用生産財 出荷指数	11.8	5.3	9.7	6.4	11.9	13.7	17.8	13.2	15.1	17.7	12.2	13.3	11.2
耐久消費財 出荷指数	7.7	2.2	2.2	1.5	3.3	2.3	10.2	8.9	6.5	25.1	7.0	6.0	8.0
所定外労働時間指数 (調査産業計)	3.0	17.7	18.2	15.6	10.8	10.9	12.5	11.6	10.8	7.9	11.9	11.1	12.7
投資財出荷指数 (除輸送機械)	12.4	5.7	8.6	7.2	5.5	12.1	5.1	7.1	5.1	11.1	8.0	7.3	8.7
商業販売額(小売業) (前年同月比)	1.1	2.3	1.0	8.7	3.2	3.1	3.2	2.9	3.5	11.2	4.0	2.4	5.6
商業販売額(卸売業) (前年同月比)	3.5	4.7	0.6	4.1	4.1	3.5	6.4	6.0	5.4	3.1	4.1	4.0	4.3
営業利益 (全産業)	22.9	13.4	12.4	23.3	29.2	20.7	21.6	16.6	15.6	9.8	18.6	20.3	16.8
中小企業出荷指数 (製造業)	8.5	5.6	6.3	8.7	4.4	10.7	5.4	9.0	7.5	13.7	8.0	6.4	9.5
有効求人倍率 (除学卒)	17.9	37.0	32.0	15.1	19.6	10.0	4.9	13.3	18.5	-13.7	15.5	18.6	12.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

(注) 各月において、一致指数採用系列の寄与度の総和はCI一致指数の前月差となる。したがって、各一致指数採用系列の各局面におけるCIの変化に対する寄与率は、累積された寄与度がCIの変化に占める割合として計算される。

図表4-11 各循環のCI一致指数の動き(各循環の山=100)



図表4-12 一致指数 各循環における個別系列の転換点のタイミング

		第10循環		第11循環		第12循環		第13循環		第14循環		第15循環	
		1985.6 山	1986.11 谷	1991.2 山	1993.10 谷	1997.5 山	1999.1 谷	2000.11 山	2002.1 谷	2008.2 山	2009.3 谷	2012.3 山	2012.11 谷
景気基準日付													
C1 生産指数(鉱工業)	転換点	1985.5	1986.8	1991.5	1994.1	1997.5	1998.8	2000.12	2001.11	2008.2	2009.2	-	-
	リード・ラグ(月数)	-1	-3	3	3	0	-5	1	-2	0	-1	-	-
C2 鉱工業用生産財出荷指数	転換点	1984.11	1985.12	1991.5	1994.1	1997.8	1998.8	2000.8	2001.11	2007.10	2009.2	2012.3	2012.11
	リード・ラグ(月数)	-7	-11	3	3	3	-5	-3	-2	-4	-1	0	0
C3 耐久消費財出荷指数	転換点	1985.11	1986.11	1991.8	1994.1	1997.6	1998.3	2000.4	2001.12	2008.1	2009.2	2012.2	2012.11
	リード・ラグ(月数)	5	0	6	3	1	-10	-7	-1	-1	-1	-1	0
C4 所定外労働時間指数(調査産業計)	転換点	1985.6	1987.2	1989.4	1994.2	1997.4	1999.6	2000.11	2001.11	2008.3	2009.3	2012.2	2012.10
	リード・ラグ(月数)	0	3	-22	4	-1	5	0	-2	1	0	-1	-1
C5 投資財出荷指数(除輸送機械)	転換点	-	-	1991.5	1993.10	1997.1	1999.4	2000.12	2003.4	2007.2	2009.7	2011.12	2012.11
	リード・ラグ(月数)	-	-	3	0	-4	3	1	15	-12	4	-3	0
C6 商業販売額(小売業)(前年同月比)	転換点	1985.7	1986.12	1990.4	1992.11	1997.3	1998.3	2001.3	2002.2	2008.2	2009.2	2012.3	2013.2
	リード・ラグ(月数)	1	1	-10	-11	-2	-10	4	1	0	-1	0	3
C7 商業販売額(卸売業)(前年同月比)	転換点	1984.7	1986.8	1990.5	1992.11	1997.3	1999.1	2000.12	2002.3	2008.7	2009.5	2011.2	2012.9
	リード・ラグ(月数)	-11	-3	-9	-11	-2	0	1	2	5	2	-13	-2
C8 営業利益(全産業)	転換点	1985.3	1986.9	1990.9	1993.12	1997.6	1998.6	2000.12	2001.12	2007.3	2009.3	2012.3	2012.12
	リード・ラグ(月数)	-3	-2	-5	2	1	-7	1	-1	-11	0	0	1
C9 中小企業出荷指数(製造業)	転換点	1985.5	1986.8	1991.5	1994.1	1997.3	1999.2	2000.8	2002.2	2007.12	2009.3	2012.4	2012.11
	リード・ラグ(月数)	-1	-3	3	3	-2	1	-3	1	-2	0	1	0
C10 有効求人倍率(除学卒)	転換点	1985.7	1986.7	1990.7	1995.7	1997.7	1999.6	2001.1	2002.1	2006.7	2009.8	-	-
	リード・ラグ(月数)	1	-4	-7	21	2	5	2	0	-19	5	-	-

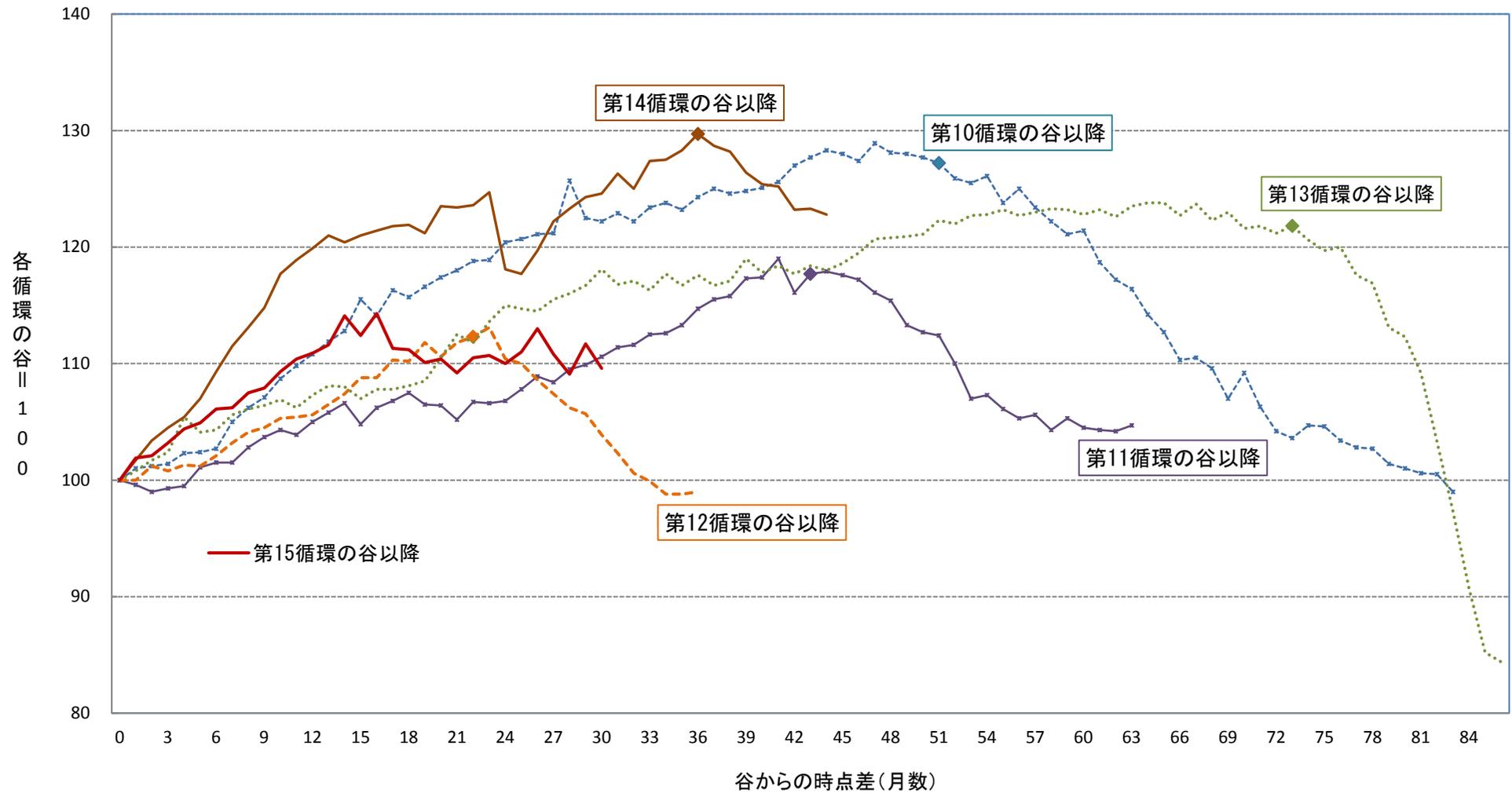
(注1) マイナスは先行、プラスは遅行月数を表す

(注3) ■ 最も遅く転換点をつけた系列

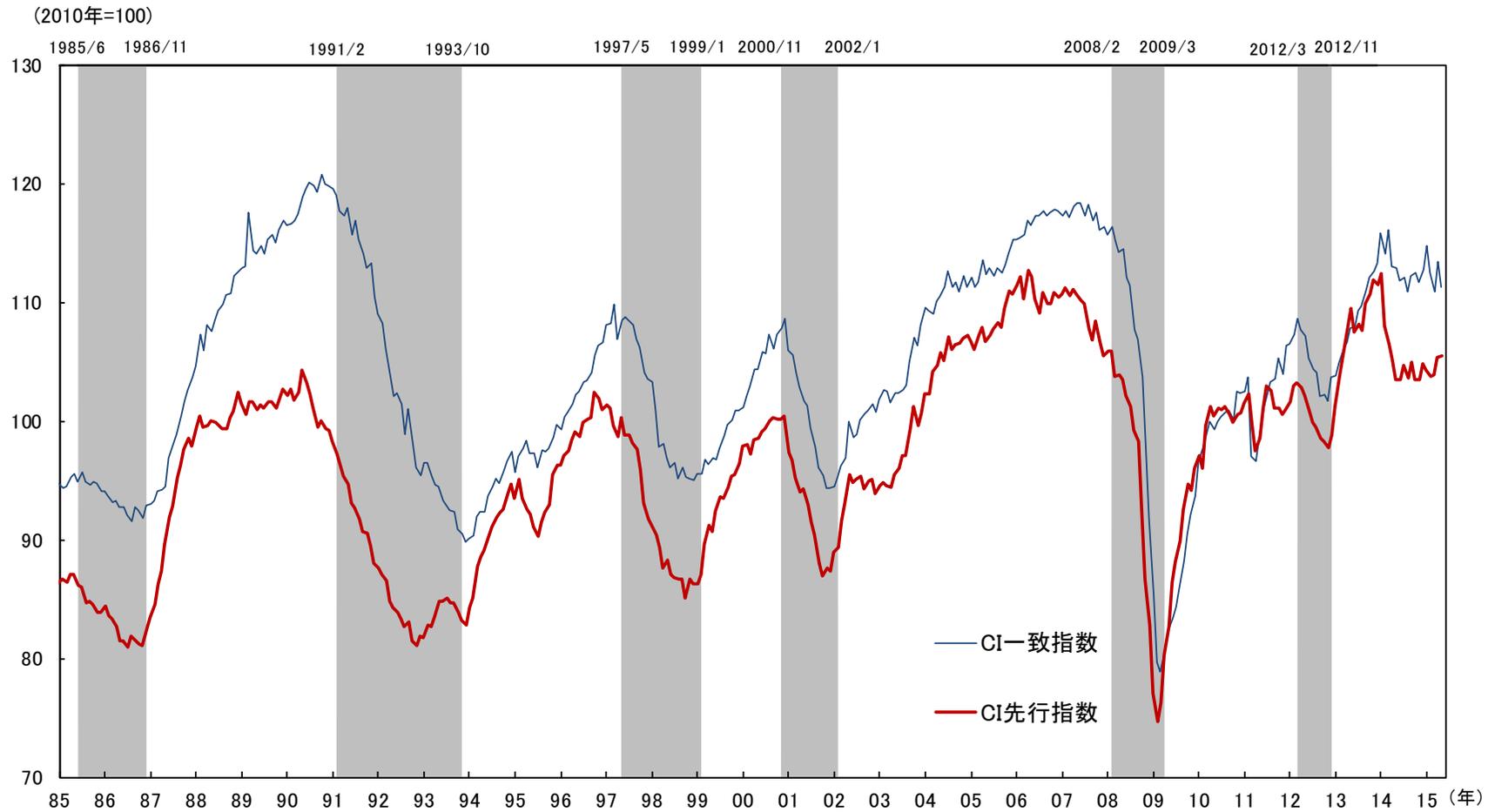
(注2) 「-」は転換点がついていない系列

■ 最も早く転換点をつけた系列

図表4-13 各循環のCI一致指数の動き(各循環の谷=100)



図表4-14 CI先行指数の推移



(注) シャド一部分は景気後退期を示す。

図表4-15 CI先行指数 各局面における個別系列の寄与率

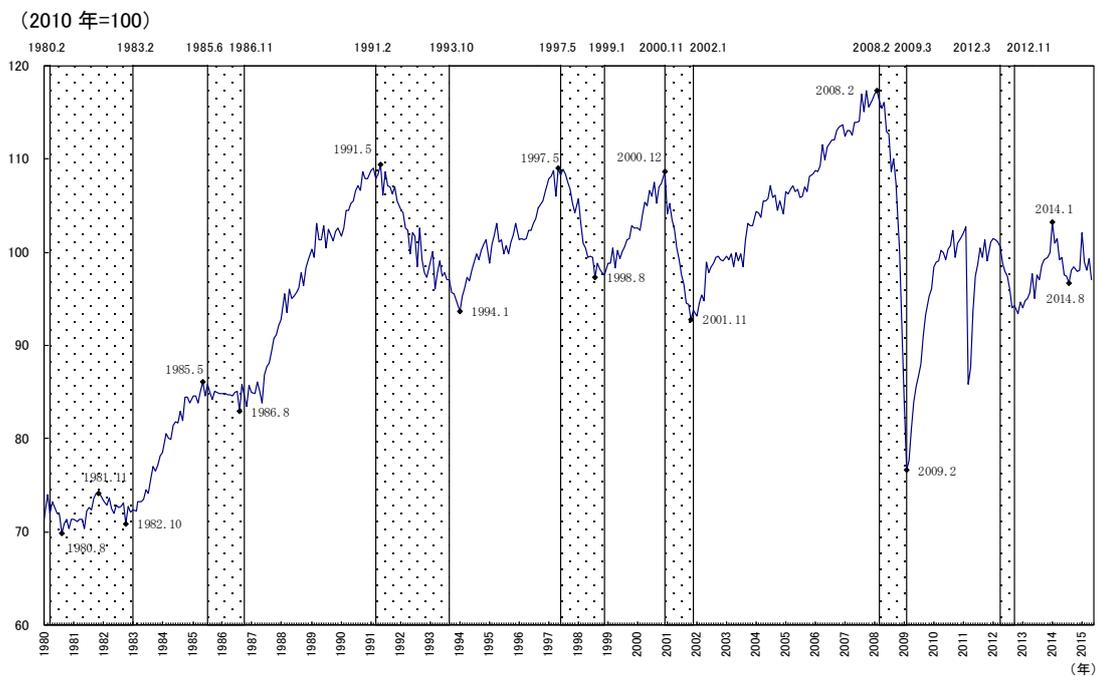
(単位:%)

	第11循環	第11循環	第12循環	第12循環	第13循環	第13循環	第14循環	第14循環	第15循環	第15循環	平均 (第11~15循環)	拡張局面	後退局面
	拡張局面	後退局面											
最終需要財在庫率指数 (逆サイクル)	-0.9	9.4	9.1	1.8	2.9	4.7	-0.8	9.5	12.5	15.8	6.4	4.6	8.2
鉱工業用生産財在庫率 指数(逆サイクル)	4.1	10.4	12.4	12.2	7.0	9.1	3.0	12.7	13.4	12.8	9.7	8.0	11.4
新規求人数 (除学卒)	14.8	34.8	24.6	12.5	22.7	15.8	-10.8	9.6	20.3	-9.3	13.5	14.3	12.7
実質機械受注 (製造業)	4.8	11.2	11.3	9.3	6.9	9.9	3.9	6.1	6.8	2.4	7.3	6.7	7.8
新設住宅 着工床面積	-7.9	-5.9	-4.4	9.5	8.4	0.3	7.8	5.0	5.3	-0.7	1.7	1.8	1.6
消費者態度指数	8.5	20.5	10.8	5.8	14.5	14.0	-13.5	6.6	19.3	4.8	9.1	7.9	10.4
日経商品指数 (42種)	28.6	29.8	25.4	20.7	13.5	3.8	39.2	14.7	4.0	13.9	19.4	22.1	16.6
マネーストック (M2)(前年同月比)	-15.0	2.9	17.0	2.4	-10.7	-11.9	3.3	1.7	0.3	13.9	0.4	-1.0	1.8
東証株価指数	-22.5	3.5	4.2	9.9	8.1	11.8	9.9	9.2	6.6	2.0	4.3	1.3	7.3
投資環境指数 (製造業)	-8.1	-2.4	14.3	11.3	11.0	21.3	3.4	17.0	20.0	-6.4	8.1	8.1	8.1
中小企業売上げ見通しDI	3.7	8.9	10.1	9.3	9.2	14.4	3.6	7.5	14.0	22.2	10.3	8.1	12.5
一致トレンド成分	89.8	-23.1	-34.8	-4.6	6.5	6.7	51.1	0.4	-22.5	28.8	9.8	18.0	1.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

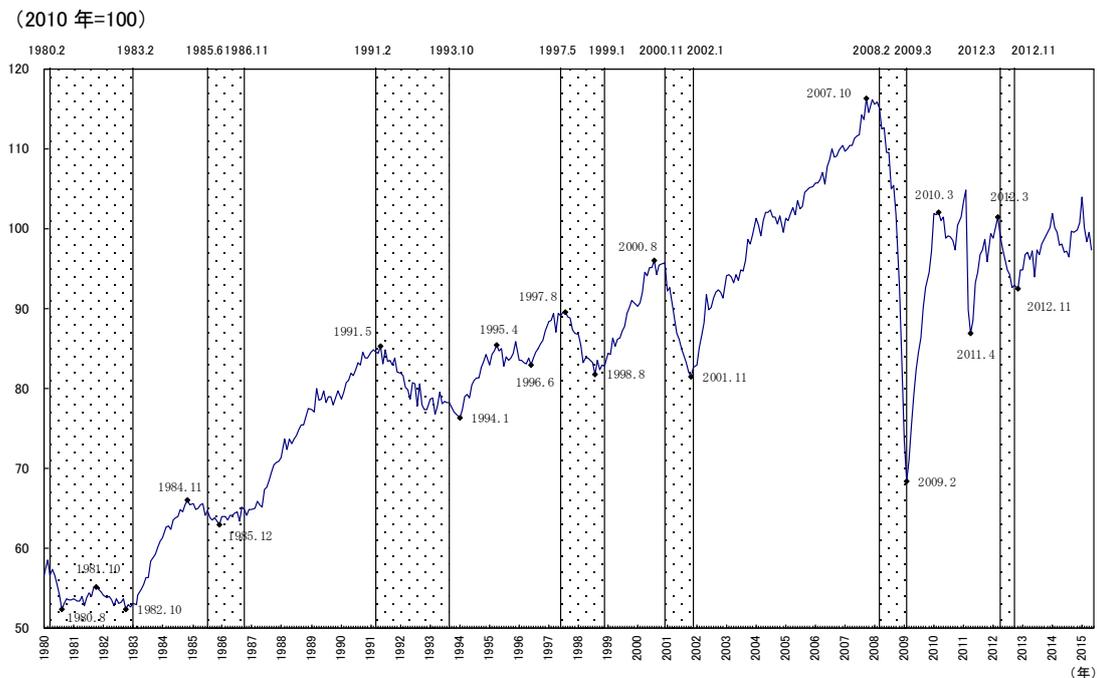
(注) 個別系列の寄与率は、変化率から各系列のトレンド分を差し引いて算出している。

図表4-16 CI一致指数 個別系列の推移(平成27年5月分速報時点)

C1 生産指数(鉱工業)

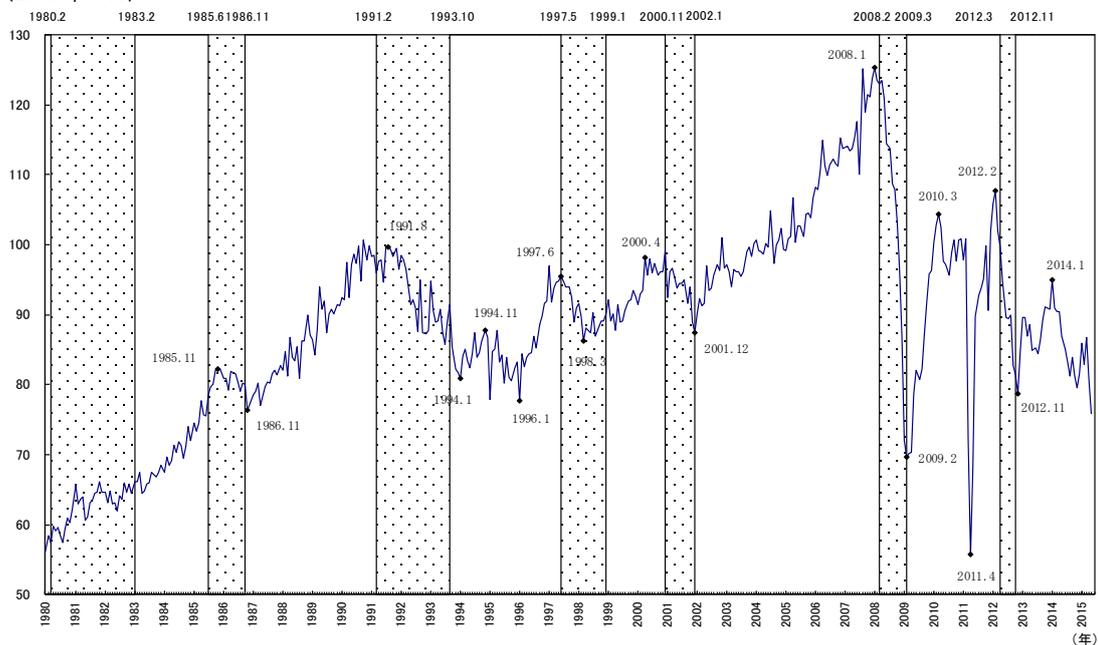


C2 鉱工業用生産財出荷指数



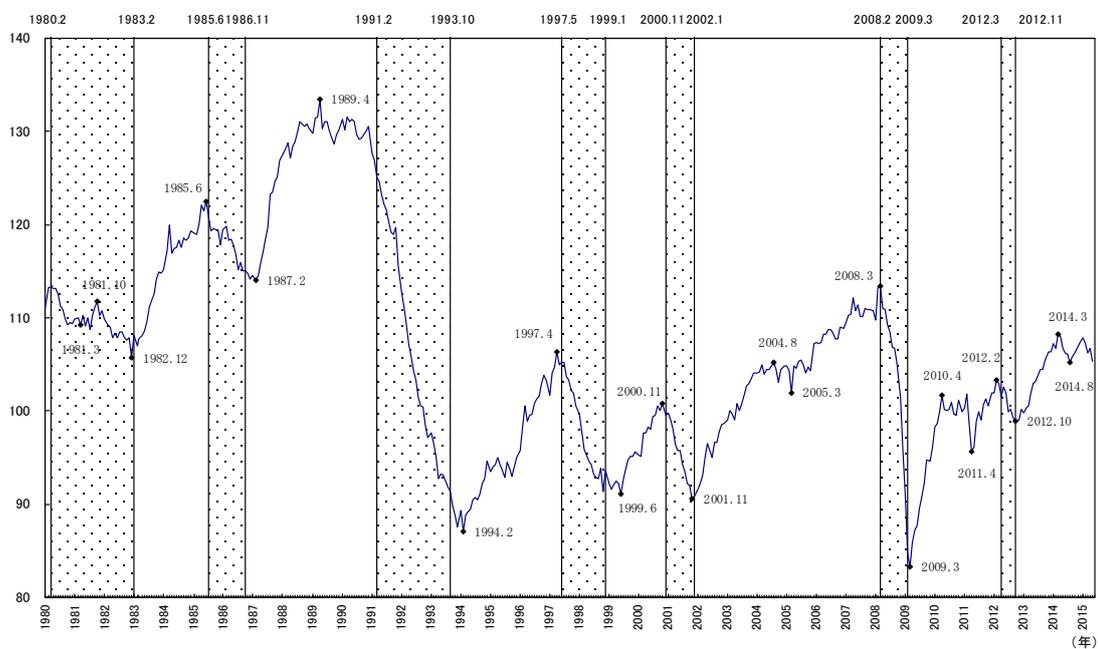
C3 耐久消費財出荷指数

(2010年=100)

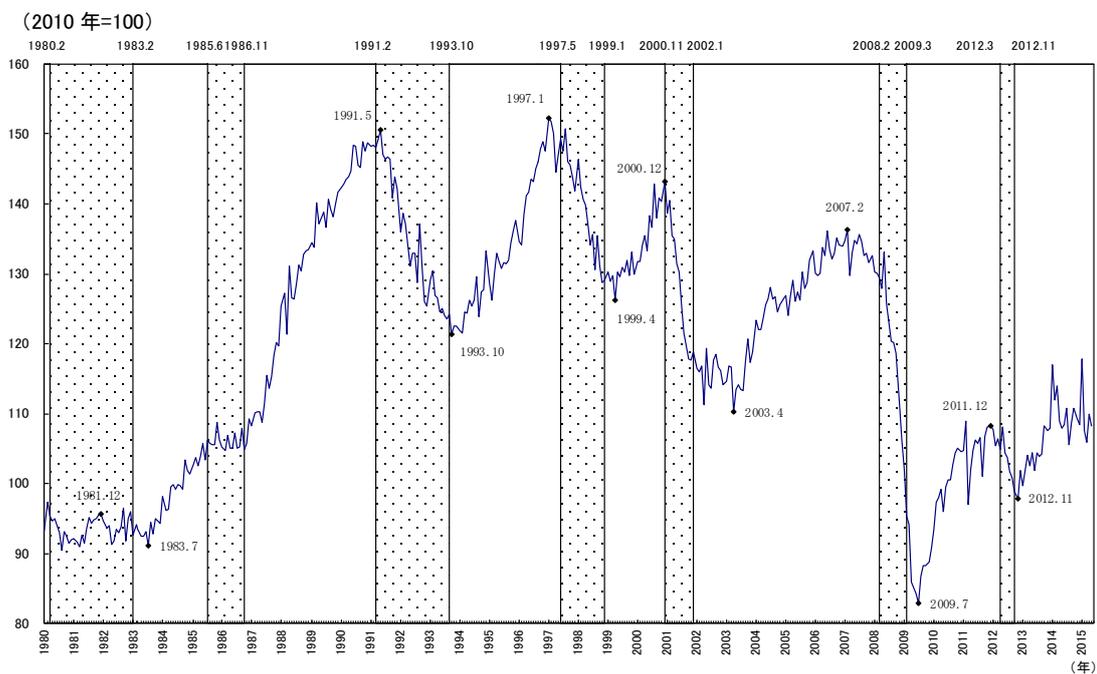


C4 所定外労働時間指数(調査産業計)

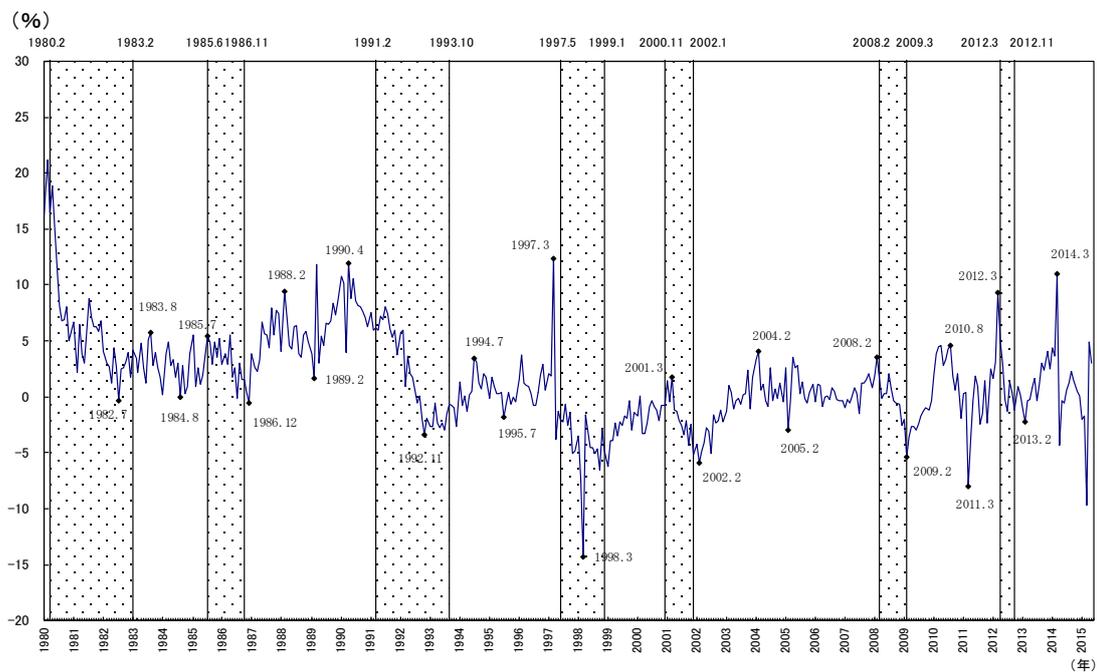
(2010年=100)



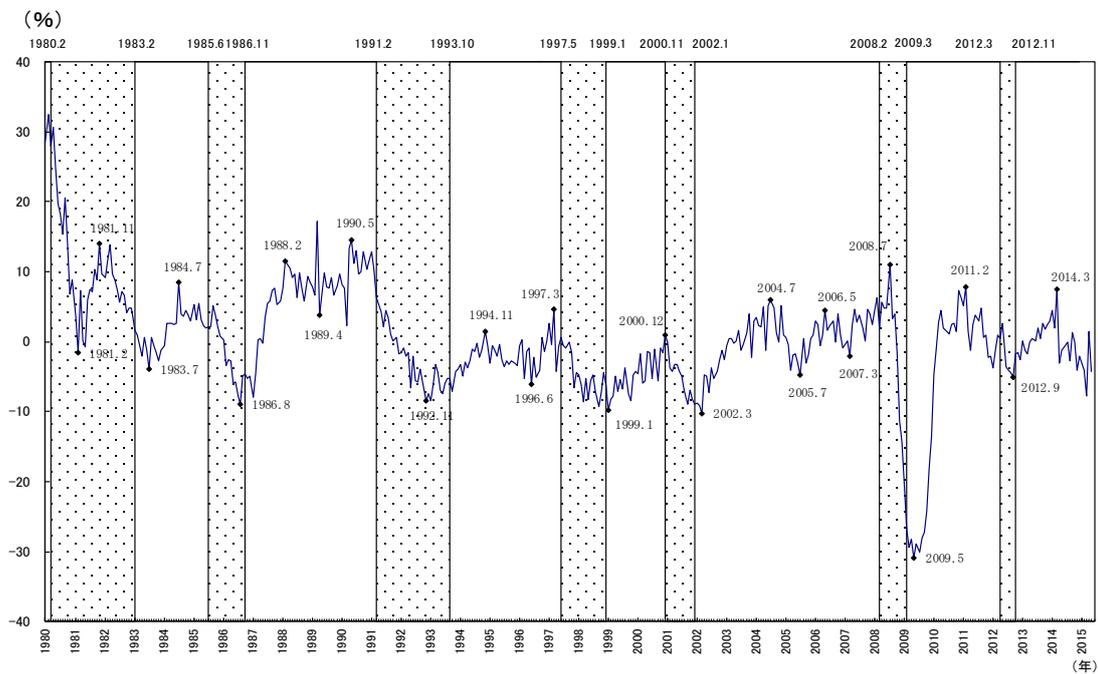
C5 投資財出荷指数(除輸送機械)



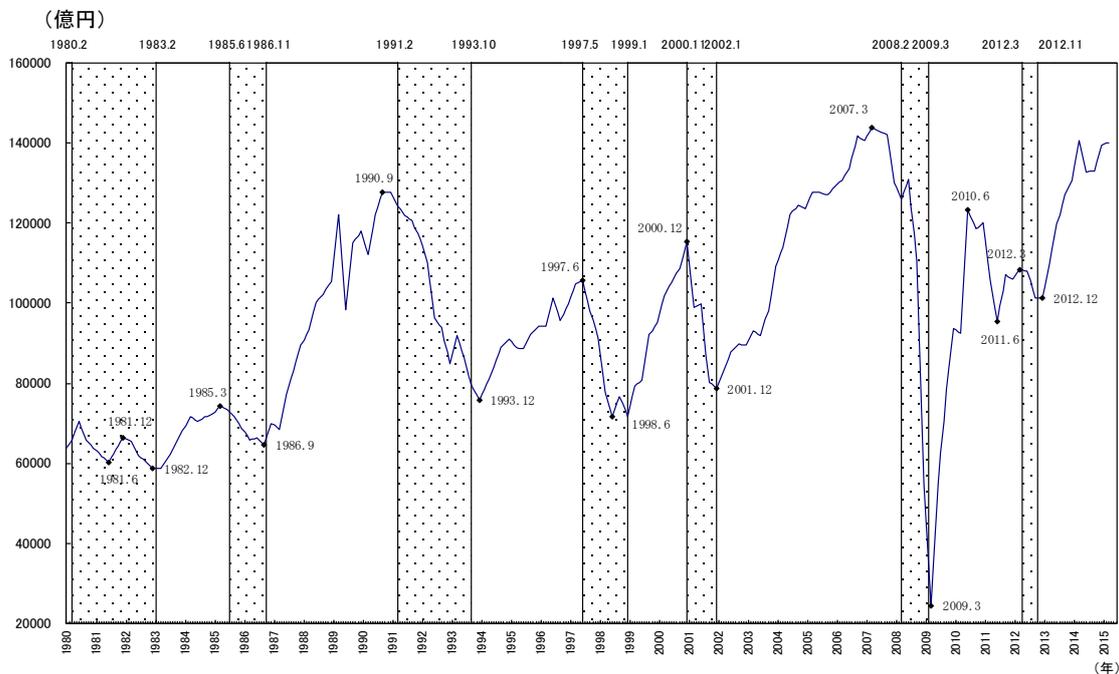
C6 商業販売額(小売業)(前年同月比)



C7 商業販売額(卸売業)(前年同月比)

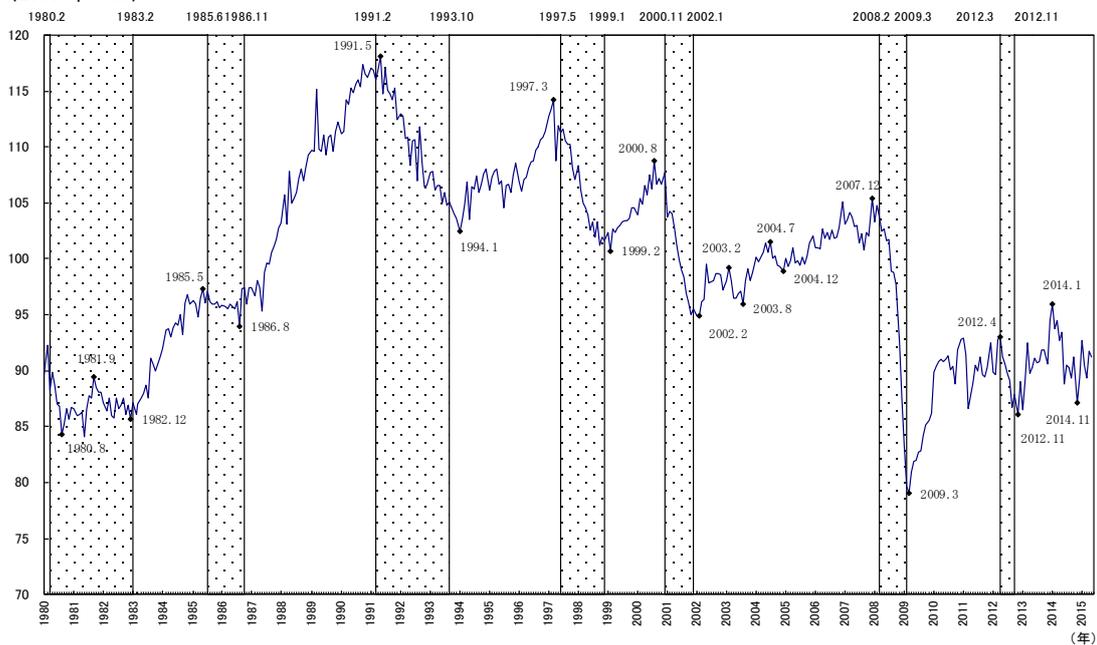


C8 営業利益(全産業)



C9 中小企業出荷指数(製造業)

(2005年=100)



C10 有効求人倍率(除学卒)

(倍)

